

★Supported by the National Gardens Scheme in the U.K.: 英国 The N.G.S.後援

～The N.G.S. Japan～

## 社団法人N.G.S.ジャパン

### ～2017年春、私の思い～

2001年から始めた「N.G.S.ジャパン」の庭園福祉活動も今年で16回目の春を迎えることができました。振り返ってみますと色々なドラマがあり私の人生を潤いのある豊かなものにしてくれました。人生は決められた道に沿って穏やかに歩みたいものと思っているのに中々そうもいかず、紆余曲折のでこぼこ道を歩んできてしまいました。2年前より、私は、父の介護と申しませうか父の身の回りのお世話をしています。カッコよく言えば、父とのかけがえのない豊かな時間を過ごしている、でも本音は、いつも大変、父の健康ばかりを心配して気忙しく毎日を送っている、これが実情です。私はいつも弱音を吐きまくる人間ですので、介護保険や医療保険のサービスをフルに活用して、もうケアマネジャーの永瀬さんには、何でも言える友達のように頼りにしています。その他ヘルパーさんやデーケアとショートステイのスタッフの皆様、看護師さん、マッサージの森さん、フランクベッドの熊谷さん、そして肝心かなめのホームドクターの権守先生、こんなに大勢の方々に頼り切っている毎日です。私は、このように父のために動いて下さっている方々を「チーム谷口」と呼んでいます。

その中で、3月頭に2週間ばかり、父のショートステイの予約がとれ、「介護者だって、時には海外にも行くのよ!」と大きく見栄を切り、英国へ1週間ほど行ってきました。その旅の最後にロンドンから電車で約1時間のところサリー州ギルフォードの近くの英国 The N.G.S.の元会長そしてN.G.S.ジャパンの総裁になって頂いていますダフネ・フォーシャムさんの邸宅と四季折々美しいお庭ヴェール・エンドへも訪問することができました。ダフネ元会長の御主人ジョンは、今年で92歳になられていますが、とてもお元気、ダフネとともに豊かな生活を楽しんでおられました。今回、ジョンから沢山貴重なお話を伺いながら、父を思い、帰ったら父のためにできるだけ穏やかで朗らかで心豊かに暮らしていきたいと思い帰ってきました。無事に英国へ行ってこられたのも、父に大感謝です。弟始め「チーム谷口」の皆さんに本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。



イギリスは、3月初めというのに、もう黄色のダッフォディルがいたるところに咲いていました。思わず、ウィリアム・ワーズワースの「ゴールデン・ダッフォディル」の詩を口ずさみました。ダフネが、英国王立園芸協会(RHS)の本拠地ウィズレイにもつれて行って下さったのですが、広大な庭園の中、白と紫のクロッカスが美しくアーティスティックに配置され、辺り一面に花開いていました。今回の旅も、忘れえぬかけがえのない豊かな時間をダフネと共に過ごせて身に余る幸せを感じました。

ダフネに、帰り際の車の中で、「タミエ、N.G.S.ジャパンのために大きなことをしなければいけないわよ。」とのアドバイスと「私も一緒にしてあげるから」ともおっしゃっていただきました。私にとっては、何よりもかえがたい力強い励ましの言葉です。でも、私に何ができるのでしょうか？ 大きなことって何かしら？ 彼女からこれからの課題を頂きました。じっくりと考えて、N.G.S.ジャパンのために動きたいと思っています。でも1人では何もできません。皆様の大きなお力を頂きたく、色々なご意見やアドバイスをお待ちしています。

「お庭という美しい癒しの空間の中、より多くの皆様に、楽しんで頂き、感動して頂き、その幸せのお裾分けのためチャリティという小さな幸せたちに社会のために良いことをしてもらおう」というこのコンセプトのもと、皆様の温かなご協力ご支援そしてお優しい御心を頂きながら庭園福祉活動を行ってまいります。今後とも、どうぞ宜しく願い申し上げます。

感謝と共に心をこめまして

(社) N.G.S.ジャパン

代表 谷口 多美江